

# リカレント教育・リスキリングに最適なプログラムを

- ・コロナのために、実践教育を受けていない新人を実践向に再教育したい
- ・経験者のスキルアップのために、実践技術の幅を広げる研修をさせたい

そんなニーズにピッタリな  
プログラムをご用意いたしております



有機合成や生命科学分野の技術習得には、指導者だけではなく、大型機器や先端機器、それを使いこなして結果を出す課題設定など、適切な研修機関がなかなかないのが実情です。

パソコン教育やプログラミング教室のような座学の研修所は見かけますが、指導者も大型機器などの実験設備も整った、実践的な技術習得を目的とした研修機関はなかなかありません。

学校のテキストのような、課題のための研修ではなく、実際の会社の課題をテーマにして、研修ができます。守秘義務等は専門のスタッフがしっかりと契約を結びます。





10段階くらいの新規構造で、  
新人にトレーニングを兼ねて  
多段階合成を経験させたい。

「最近では製薬会社から、新規化合物の  
合成をルート開発から依頼」されることが  
多くなった。  
しかし、全合成を学んだ新人の獲得も  
厳しい。

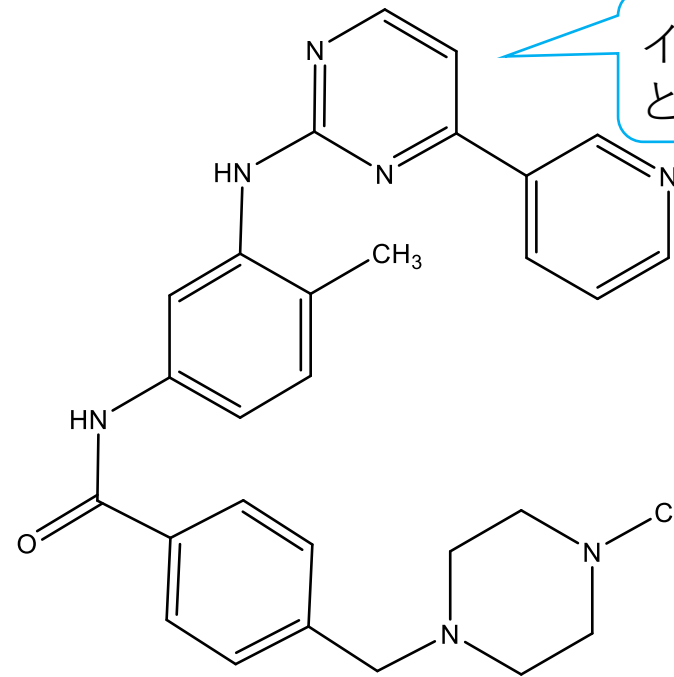
学校で習っただけ  
じゃ、**実践では通  
用しない**ですね。

中国の外注も高額になり、国内の  
発注も増えてきている。  
**このチャンスに受注を増やしたい。**

**鍛えなおされました！  
お任せください！**

電気通信大学  
牧研究室

貴社の研究員を、手練れにします。



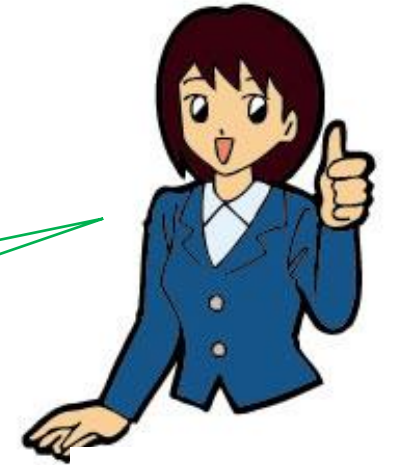
imatinib

イマチニブを対照薬  
として合成してほしい。

特許や各種契約・  
守秘義務等にもしっ  
かり対応します。

牧研が貴社のテーマを請け  
負って、研修を実施します。  
トレーニングされた研究員と  
実験結果を会社にお返しします。

私たちがしっかりお預かりします。  
学術集会や論文・学会発表（公知  
化のお手伝い）もサポートします。



# 問い合わせ先

電気通信大学・大学院情報理工学研究科 基盤理工学専攻  
生物有機化学研究室（平野・牧研究室）

E-mail: [s-maki@uec.ac.jp](mailto:s-maki@uec.ac.jp)

Tel: 042-443-5493

Fax: 042-486-1966